

「ひらかた平和教育シンポジウム」緊急アピール

核兵器のない平和な未来をこどもたちに

広島・長崎の被爆と第二次世界大戦の終結から 65 年がたちました。

平和を望む多くの人々の願いもむなしく、世界は依然として核兵器の廃絶に至らず、暴力の連鎖に傷ついています。

本日のシンポジウムに参加した私たちは、核兵器廃絶に向け、非核平和を訴える都市が手を携え、市民一人ひとりが希望を共有しながら行動していくことの大切さを再確認しました。そして未来を担うこどもたちに、戦争を経験し被爆された方々の切実なメッセージを伝え、地球と全ての生命を尊重する心豊かな人間性を育むことの必要性を再確認しました。

「ひらかた平和教育シンポジウム」に参加した私たちは、広島及び長崎との連携をより一層強固なものとし、核兵器のない平和な未来をこどもたちに届けるため行動していくことを、ここに誓います。

2011年（平成23年）2月6日

「ひらかた平和教育シンポジウム」参加者一同